

令和7年11月16日(日)樹木診断会 報告

会員:パイロットホーム団地管理組合法人  
住所:千葉県美浜区高洲1丁目14

9棟 全戸数 285戸 築53年(築年月:1972年6月)

ご参考:昭和55(1980)年1月8日付 協定書 区域図



ご参考:過去の樹木診断情報:平成14(2002)年3月発行 [ふるさとのみどり第22号\(PDF:518KB\)](#)  
記事: [樹木診断会の結果を生かして](#)

樹木診断の希望内容

- 1) 団地内高木の状態と今後の管理方法、2) 果樹の状態と今後の管理方法、3) 夾竹桃の管理、
- 4) 藤棚の管理(花を咲かせるには・・・)、5) 生垣の管理(高さ等)、6) その他 などについてアドバイスをいただきたい。

樹木診断の流れ:

13時半に集会室に集まっていたき、出席者の紹介と挨拶の後、団地の紹介が『住みやすさ向上委員会』大岩委員長よりあり、敷地内をまわりながら都度アドバイスを受け、集会所に戻り全体の総評と質疑応答を行ない15:45に終了した。参加者は、当協議会役員と先生を含め12名となった。

事前に主催者より樹木診断会次第と団地の平面図(巡回コース)が配布された。 [「樹木診断会次第と平面図」\(PDF:265KB\)](#)

樹木診断会の様子



具体的なアドバイスと総評



樹木名の銘板  
委員会にて設置



棟前の桜は梢端(しょうたん)枯れもなく概ね良好(伸び過ぎる枝は適切に切除してよい)



根の育成空間が狭く、痛んでいる。  
バランスを考慮した管理が必要。



柿や柚子の実のなる樹は、生活感がある。

←透かし剪定されており良好な状態



緑が混んでおり、透かすとよい(数箇所あり)



ノウゼンカズラ

外側(道路)にはみ出したため強剪定したとのこと



実生木(みしょうぼく:種子(実)から自然に発芽して育った木)は、早めに駆除した方よい



低木生垣に笹が出てきている



ユリノキ



棟ごとのボランティアが管理している棟の花壇

←キョウチクトウの生垣:毒性があり別の樹木に植え替える団地も多いが、今まで通り適切な管理を継続される

総評:

樹木診断で各団地をまわっていますが、住民の生活感があるかをみています。この団地は、ちょうど適当でよろしい。管理が良すぎると硬い感じになります。手入れが行き届かない(手入れしすぎない)ところがよい。

生垣は刈り込んでも、シラカシとかマテバシは自然形がよく、刈り込まず透かし剪定をすることを推奨しています。

事務局コメント:

平成14(2002)年3月発行の「ふるさとのみどり第22号」に、パソコンで樹木マップ(毎木管理用図面)を作成し管理していることが紹介されており、このような工夫が引き継がれ良好な環境が維持されていると思います。また、植栽管理や環境改善にあたっては「住みやすさ向上委員会」が住民の声を反映した活動計画を立案し、理事会や担当理事と一体になり進めておられます。

桜の管理や藤棚の管理については、磯辺西住宅の樹木診断会の総評や資料もご参照→ [磯辺西住宅樹木診断\(936KB\)](#)